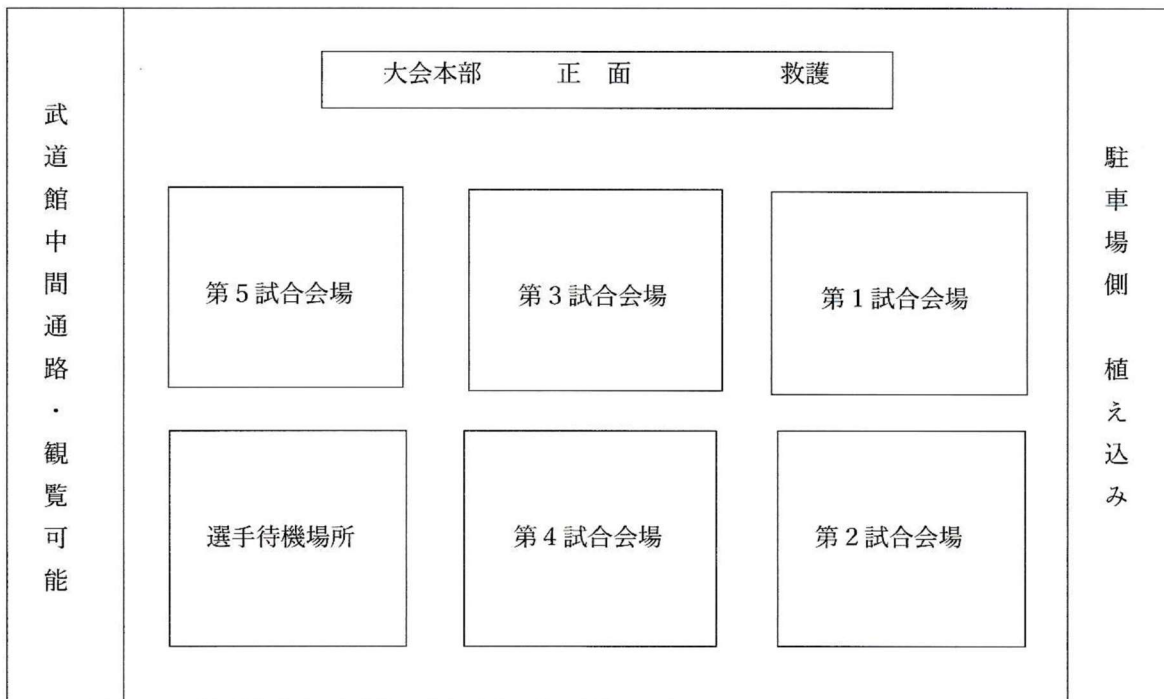


<東埼玉支部柔道選手権大会 大会要項>

- 1 主 旨： 地域活性化と大会を通じ、少年少女の心身の鍛練と健全な育成と親睦をはかる。
- 2 主 催： 東埼玉支部柔道連盟
- 3 主 管： 久喜・蓮田地区
- 4 後 援： 東埼玉支部柔道連盟（各地区）
○春日部地区 ○越谷地区 ○幸手・杉戸地区
○東部地区（吉川・三郷・松伏） ○草加・八潮地区
- 5 日 時： 2024年10月6日(日) 受付開始 9時00分 開会式 9時45分
- 6 会 場： 春日部市民武道館
住所：埼玉県春日部市大沼 2-107 TEL：048-738-1020
- 7 参加資格： 以下の参加資格を満たすものを対象とする。
 - (1) 2024年度全日本柔道連盟登録をしている各団体所属の小中学生 男女。
 - (2) 柔道を始めて経験年数が1年以上のもので、各団体代表が試合出場に問題ないと認めたもの。
 - (3) 大会参加に際し、団体責任者及び保護者が同意していること。
 - (4) 大会開催日前、1カ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け医師から試合出場の許可を得ること。
 - (5) 各団体の責任にて、皮膚真菌症（トングランス感染症）の発症有無を確認し、感染が疑わしいまたは感染が判明した場合は、医療機関において、的確な治療を施していること。
 - (6) 試合における負傷について、次項「事故対応」の内容で承諾していること。
- 8 柔道衣：
 - (1) 着用する柔道衣（白系）は、規定サイズでゼッケン（苗字、所属団体名）があるものを着用する。青色柔道衣、極端にサイズが合わない柔道着またはゼッケンがない柔道着の場合は試合出場を認めない。
 - (2) 女子については、原則、柔道衣の下に白色無地のTシャツを着用する。（極端に大きくないメーカー等のワンポイントは可とする）
 - (3) 髪の毛については、柔道着の襟元にかからないように束ねる。
 - (4) ミサンガ、アンクレット並びにその他、危険とみなす装飾品等の着用は認めない。宗教上の理由等、大会運営側が認める場合に限り着用を可とし、その場合は、テーピング等で保護するなど大会運営側の指示に従うこと。
- 9 試合方法： 学年、男女別によるトーナメント戦
但し、試合出場が5名以下となるクラスはリーグ戦とする。
- 10 表 彰： 各クラスの優勝・準優勝・3位（2名）を表彰する。
- 11 事故対応： 大会期間中の試合における負傷に備え、大会運営側で傷害保険に加入する。
試合における負傷が発生した場合の補償は、加入の傷害保険の範囲内とする。
- 12 審判規定：
 - (1) 試合審判規定は、以下に準ずる
 - ・国際柔道連盟試合審判規定 2022～2024
 - ・国際柔道連盟試合審判規程一部改訂について（22.3.2）
 - ・国内における「少年大会特別規定」（2022.1.24 改正）

- ・埼玉県少年大会申し合せ事項
 - ・大会審判申し合せ事項
- (2) 試合は、以下のとおりとする。
- ・試合時間は3分とし、ロスタイムは取らない。
但し、負傷による治療等、審判が認める場合については、ロスタイムを取る。
 - ・試合は、3審制で行う。
 - ・試合の勝敗は、技によるポイントまたは指導差が2つ以上で決するものとし、指導3つで反則負けとする。
 - ・試合時間内で、勝敗が決せない場合は、旗判定で勝敗を決するものとしゴールデンスコアによる勝敗は行わないものとする。
 - ・立ち姿勢での攻防のなかで、両方の選手を一对とし、4本の脚のうち2本が場外に出た時点で「待て」を宣告するものとする。
 - ・寝姿勢の攻防で、両方の選手を一对とし、その半分が場外に出た時点で審判は、「待て」を宣告するものとする。
また、抑え込みの状態であっても、両方の選手を一对とし、その半分が場外に出た時点で、審判は、「解けた、待て」を宣告するものとする。
 - ・審判員が危険と判断した場合は、速やかに「待て」の宣言を行い、試合を止める。加えて、著しい危険行為については、3審合議及び審判長へ確認した後、選手に口頭説明を行い「反則負け」とする。
 - ・その他、審判員は、試合の円滑な運行に努め、負傷等の発生を未然に防ぐよう試合をコントロールする。

13 試合会場



以上